



# 園長だより



新渡戸文化子ども園  
平成25年11月22日

第7号

## 「譲る」と「並ぶ」

東京オリンピックが2020年に開催されることが決まりました。「おもてなし」の言葉を聞いた時に真っ先に思い浮かんだ言葉が「譲る」でした。

オーストラリア・メルボルンに住んでいた時に、市内移動はトラム（路面電車）を利用しておりました。日本人として驚いたことは、ほぼ100%の確率で若者は自分より年上の方には席を「譲る」事をしていました。また、明らかに80歳以上の紳士においても、ご自分の事は後回しで、お腹の大きい妊婦さんに席を「譲る」事をしていました。

4月に日本に帰国し電車を利用すると、我先にと若者が席に座ったり、目の前に妊婦さんがいても、イヤホンを耳にして知らん顔の光景を目にする確率が高い事に改めて驚きました。

オリンピックが開催される2020年にたくさんの外国のお客様がいらっしゃる「おもてなし」をする頃には、今、園にいる子どもたちは10歳から12歳になります。電車の中で困っている方を見かけたら、「どうぞ」と「譲る」人になってほしいなと思いを巡らします。

さて、レストラン、電車、等々、朝早くから、夜遅くまで行列を見かける機会が多い事も日本に帰国してから感じたことの一つでした。しかも誰ともなく自然にルールを守り待つことは、とても良いことだと改めて感じました。自己責任、個人主義の欧米社会ではなかなか自然にできる事ではないようにも思います。

子ども達は、手を洗うのにも、先生から何かを渡していただくのにも、滑り台を滑るのにも、先生方から「順番」という言葉を教えていただきます。時々抜かしてしまいそうになると順番に「並ぶ」事をしましょうと先生から教えていただきます。

こう考えいくと「譲る」も「並ぶ」もどちらも、幼児期に子ども達に伝えなければならないとても大切な事なのだと感じます。そして、「譲る」とこうなったよねと、結果をきちんと言葉で伝えていく。また「並ぶ」とこうなったよねと、結果を言葉で伝えていく。

子ども達の心の中にきちんと2つの言葉やその行為の意味が、残ってほしいと願います。

### つぶやき (3歳児)

10月31日のハロウインの日。

職員室で魔女に変装していると、年少組さんが

「trick or treat!」とやってきました。

「ハッピーハロウイン!ほうきに乗ってやってきました!」と、変装した私が言うと、目を丸くして驚いた様子の子も達。

「魔女さんはほうきに乗ってどこへ行ったのかな?

大丈夫かな?と、心配していましたよ。」と、担任が伝えてくれました。

明らかに私とわかる変装でしたが、それを信じる純真な心を大事にしていきたいと思いました。

### 七五三 300年以上前の

11月15日に始まった7歳、5歳、3歳の子ども達の成長を祝う行事。

子ども達が大人になり、幼い時の写真を見て感じるだろう言葉を代弁すると、「3歳まで、5歳まで、7歳まで育ててくれてありがとう。」保護者の皆様にとりましても、子育ての大変な時期を成し遂げたお祝いですね。



## 子育て相談

～ 子ども園相談室より ～



「子を育てる。」一言でいうと簡単ですが、本当に大変な事です。時には親の思い通りにいかないこともありますね。もしかしたら、思い通りにいかないことの方が多いかもかもしれません。そんな時、周りの方と協力していますか?一人で思い悩んでいませんか?大丈夫ですか?

昔は、おじいちゃまやおばあちゃまが一緒の3世代同居が常でしたから、子育ての悩みを相談できる方が近くにいました。そのご経験から励ましの言葉をかけてくれたり、「親だったら、自分の思い通りにいなくても我慢なさい。親でしょ!」と、叱咤してくれていました。そして、大変さを共感してくれました。

そんな役割も担っていく事が、私どもの園なのだと思う今日このごろです。